

発見された倭京—太宰府都城と官道—

古田史学の会論集『古代に真実を求めて』—明石書店—第二十一集の出版を記念して、久留米大学御井キャンパスにて講演会を開催いたします。太宰府(倭京)の新発見と最新研究が報告されます。

共催：久留米大学比較文化研究所、九州古代史の会、古田史学の会

講演会開催次第： 平成 30 年 10 月 14 日(日) 13:00 開場

- | | | | |
|-------------|-------------------------------|-----------|------|
| 13:10~13:15 | 開会の挨拶 | 久留米大学教授 | 福山裕夫 |
| 13:15~14:35 | 「九州王朝の新証言—観世音寺の百済系瓦と太宰府の鬼瓦—」 | | 古賀達也 |
| | ・通説では説明不能、太宰府観世音寺の創建年代の真実に迫る | | |
| 14:40~16:20 | 「倭弥呼と『倭国大乱』の真相」 | | 正木 裕 |
| | ・古田史学の原点に戻って、古代の東アジアと倭国を俯瞰すると | | |
| 16:20~16:50 | 質疑応答 | | |
| 16:50~17:00 | 閉会の挨拶 | 九州古代史の会会長 | 木村寧海 |

◎ 予約申し込み不要、当日受付。参加費 1,000 円

場所：久留米大学御井キャンパス
500号館



古田武彦先生が明らかにされた、九州王朝(倭国)の姿は既報の通りです。

この九州王朝の都(太宰府)を防衛する巨大な羅城=筑紫土塁の一部が発見されました。大野城・基肄城・水城そして筑紫土塁と巨大な防衛施設群に護られた倭国の都城。

これら是一元史観では到底説明できないものです。「古田史学」の精鋭が眼から鱗の研究成果を発表します。

質疑の時間もありますので、是非ともご参加いただき、意見を述べてください。

◆お問い合わせは古田史学の会(開催責任者：正木裕 090-4909-8158)まで